

小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテスト 2024 講演会 ～「皆さんが今、学んでいる先にあること」～

久しぶりにコンテストに関連して講演会を開催します。

科学コンテストに出品された皆様だけでなく、学生の皆様がこれから研究を進めていく上で、役に立つ内容になっていますので、ご参考にして頂けると幸いです。

以下に講師の白井裕子先生のプロフィール、講演の概要等をお知らせいたします。

<日時・場所> 2024年12月15日(日) 13:25から 小田原お堀端コンベンションホール

<講師紹介>

白井 裕子 先生 慶應義塾大学環境情報学部兼政策・メディア研究科 准教授
博士(工学)早稲田大学、一級建築士 専門分野:森林環境システム

経歴:早稲田大学理工学部卒業、稲門建築会賞受賞、ドイツバウハウス大学留学、早稲田大学大学院修士課程修了、早苗賞受賞。株式会社野村総合研究所に研究員(コンサルタント)として勤務、日本学術振興会 特別研究員PD、フランス国立科学研究機構 研究員、早稲田大学理工学術院 准教授(任期付)などを経て現職。これまでの主な兼職:早稲田大学理工学術院 客員教授、内閣府規制改革推進会議 専門委員等。著書に「森林で日本は蘇る」「森林の崩壊」ともに新潮新書。



<講演の概要>

私は、民間企業や大学、そして海外でも研究し、複数の研究分野で論文を発表してきました。そこから大学で学び、研究する醍醐味、面白さについてお話します。

世界には森林面積は減少し、砂漠が広がっている国も少なくありません。しかし我が国は国土の67%が森林に覆われた、豊かな国です。しかしそこには様々な問題があり、私たちは、その問題解決を目指して、研究をしています。今日はその研究の一例として、森林内作業を安全に行うために開発している技術について、お話したいと思います。

この研究では、安全に木を伐り倒したり、凸凹した森の中を重量物を載せて走る機械(写真参照)を開発しています。国内外の森林の様子や、作業の様子について話し、そして実際に開発している機械について、写真や動画をお見せしながらお話したいと思います。

今日の大学での研究は、真理の追究だけでなく、このような現実の問題に対して、どうしたら解決できるかについて、大学の中の人たちだけでなく、大学の外の人達や、専門分野の違う研究者とグループを作って、新たな研究にチャレンジすることがあります。大学の研究には多様な可能性があるのです。

皆さんの多くも、大学への進学を目指してらっしゃると思います。大学時代は、一つの学問を修めることで、ものの考え方が形作られる、大事な時でもあり、大学で学び、研究する大切さについても、お話したいと思います。

